

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 28 年 8 月 25 日 (2016.8.25)

【公開番号】特開 2015-65167 (P2015-65167A)

【公開日】平成 27 年 4 月 9 日 (2015.4.9)

【年通号数】公開・登録公報 2015-023

【出願番号】特願 2014-182638 (P2014-182638)

【国際特許分類】

H 0 1 R 31/06 (2006.01)

H 0 1 R 12/73 (2011.01)

H 0 1 R 13/60 (2006.01)

G 0 6 K 7/00 (2006.01)

G 0 6 K 19/077 (2006.01)

G 0 6 F 1/16 (2006.01)

G 0 6 F 1/18 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 R 31/06 M

H 0 1 R 31/06 R

H 0 1 R 12/73

H 0 1 R 13/60

G 0 6 K 7/00 0 2 1

G 0 6 K 19/077 2 4 4

G 0 6 F 1/00 3 1 2 K

G 0 6 F 1/00 3 1 2 G

G 0 6 F 1/00 3 2 0 E

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 28 年 6 月 30 日 (2016.6.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 0 】

ハウジング 2 は、一対の長い側および一対の短い側を有する細長い形状であり（図 3 を参照）、上壁 2 1 と、底壁 2 2 と、一対の側壁 2 3 とを含む。側壁 2 3 のそれぞれが、上壁 2 1 と底壁 2 2 とを相互接続するために、短い面のいずれか一方にそれぞれ配置される。ロック機構（例えば、ワイヤー）がそこを通して伸びることを可能とするため、貫通孔 2 3 1 が側壁 2 3 のいずれか一方に形成されてもよい。このようにして、インターフェイス装置 1 が、アクセサリアイテムとして、財布または携帯用の装置など他の物に取り付けられることが可能となる。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 1 】

上壁 2 1 および底壁 2 2 は、長い側において互いに接続されておらず、それによって、長い側に二つの開口部 2 0 1、2 0 2 がそれぞれ形成される。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 3】

さらに図 5 および図 6 を参照して、回路基板 4 は、裏表の第 1 および第 2 の表面 4 1、4 2 を有し、ハウジング 2 と類似する、一対の長い側および一対の短い側で構成される細長い形状を有する。回路基板 4 は、スイッチユニット 3 にはめ込まれる。特に、回路基板 4 の一部がベース 3 1 に包含され、且つ回路基板 4 の他の部分がフレーム 3 2 に噛合する。その結果として、回路基板 4 は、スイッチユニット 3 によって、ハウジング 2 に対して相対的に移動することが可能となる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 4】

第 1 の接続インターフェイス 5 は、スイッチユニット 3 のフレーム 3 2 において、回路基板 4 の短い側のいずれか一方に備えられ、且つ電子装置 9 の第 1 のソケット 9 1 と電氣的に接続されるよう構成される。第 1 の接続インターフェイス 5 は、ユニバーサル・シリアル・バス (USB) 2.0 または USB 3.0 規格に準拠してもよい。一方で、第 1 のソケット 9 1 は、USB 2.0 または USB 3.0 規格をサポートする USB ソケットであってもよい (図 2 を参照)。他の接続規格が、第 1 の接続インターフェイス 5 を電子装置 9 の多様なソケットに接続するための手段として用いられてもよい。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 1】

第 2 の接続インターフェイス 7 が、第 1 の接続インターフェイス 5 と反対側であり、回路基板 4 の短い側の他方に提供される。第 2 の接続インターフェイス 7 は、第 1 の接続インターフェイス 5 と異なる。例えば、第 1 の接続インターフェイス 5 が、USB 2.0 または USB 3.0 規格に準拠する一方で、第 2 のインターフェイス 7 は、マイクロ USB またはミニ USB 規格に準拠してもよい。実際には、第 2 のインターフェイス 7 は、電子装置 9 の第 2 のソケット 9 2 と電氣的に接続されるよう構成されてもよく (図 2 を参照)、且つ絶縁板 7 1 と、第 2 の端子セット 7 2 と、第 2 のシェル部材 7 3 とを含んでもよい。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 2】

絶縁板 7 1 は、回路基板 4 の短い側の他方に固定される。第 2 の端子セット 7 2 は、一部が回路基板 4 と電氣的に接触して、絶縁板 7 1 の上に配置される。第 2 のシェル部材 7 3 は、絶縁板 7 1 に接続され、且つ第 2 の端子セット 7 2 を覆う。